

第47回

全国学童保育研究集会 in 埼玉

2012年10月 6 日(土) 全体会 さいたまスーパーアリーナ(さいたま市)
10月 7 日(日) 分科会 ^{どつきょう}獨協大学(草加市)



主催 全国学童保育連絡協議会・埼玉県学童保育連絡協議会ほか

後援 埼玉県・埼玉県教育委員会・さいたま市・さいたま市教育委員会ほか



全国学童保育連絡協議会／編集・発行

日本の

学童ほいく

働きながらの子育てと、学童保育
の実践と運動に役立つ記事が満載

月刊／定価330円

* ファクスで送る場合は拡大コピーしてください。

申し込み者氏名		連絡先電話番号		FAX番号	
(ふりがな)		() -		() -	
【参加証送付先】 送付先に○をつけてください (自宅 学童保育 勤務先 その他)					
〒□□□-□□□□					
* 自宅以外の場合は、学童保育名・団体名・会社名、様方等を必ず記入してください。					
送付方法は次のいずれかに○をつけてください 一括送付 個別送付					
集会参加回数 ()回目	立場 ○印	保護者(○B含む) 議員 児童委員	指導員 学校関係者	児童館職員 学生 その他 ()	自治体担当職員
所属学童保育の所在地		都道府県 ()		市区町村 ()	
参加費 3500円		弁当代 800円× 個 = 円			
合計 () 円を添えて申し込みます。					
保育の申し込み：利用する日、子どもの年齢、名前、ふりがな、人数、その他必要事項(アレルギー等)があればお書きください。					
6日(土)		歳	か月	(小学 年生)	名前 ^{ふりがな} 必要事項
7日(日)		歳	か月	(小学 年生)	名前 ^{ふりがな} 必要事項

き り と り

申込日 月 日

宿泊新規申込書 ・ 変更 ・ 取消

上記に○印をつけてください

第47回全国学童保育研究集会

*必ず、お手元にコピー(控え)を残してください

申込者(ふりがな)				宿泊合計人数	
*(代表者名)					
TEL	自宅 () -	FAX	自宅 () -		
	職場 () -		職場 () -		
連絡先住所 (予約兼確認書送付先)		〒□□□-□□□□			
勤務先 (いずれかに○をつけてください)		自宅			

当社整理番号	* 宿泊者氏名 ^{フリガナ}	年齢	性別	10/6	記号	地区希望 (ホテルリスト参照)	部屋タイプ	
				第1希望		埼玉県内	ツイン	禁煙
				第2希望			シングル	喫煙
				第3希望				
*〈備考欄〉				例	D	埼玉県内	シングル	禁煙

※ご希望通りにお取りできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

※まとめて申し込む場合は、代表者を決め、各宿泊者ごとに申し込み書を記入のうえ、同時にお申し込みください(一覧表を作って送っていただいても結構です)。予約確認書は、代表者へ一括してご郵送させていただきます(ただし、あくまでも先着順の受付となりますので、分宿の場合もあります。あらかじめご了承ください)。

※上記の必要事項を必ずご記入お願い申し上げます。

※前泊・後泊等のご希望の方は、備考欄に詳しくご記入ください。

※ベッド・朝食が不要な幼児(満3歳以下)を同伴する場合は、備考欄にその旨、ご記入ください。

【旅行手配のために必要な範囲内での宿泊機関への個人情報の提供について同意のうえ、本旅行に申し込みます】

名鉄観光サービス株式会社 担当 中村 FAX 048-641-5287

全体会

10月6日(土) 13:00～16:30 **さいたまスーパーアリーナ**
(コミュニティアリーナ)

12:00 受付開始
13:50～14:20 基調報告
14:20～14:50 特別報告
15:00～16:30 記念講演

13:00～13:30 歓迎行事
全国学童保育連絡協議会
*保護者から *指導員から

13:30～13:50 開会行事

子どもへの理解を深め、育ち合いの学童保育をめざして
広木克行 (大阪千代田短期大学教授)



〈プロフィール〉

1945年、樺太生まれ。東京都立大学卒。東京大学大学院博士課程単位取得、教育制度論、臨床教育学専攻。長崎総合科学大学教授、神戸大学教授を経て、現在、大阪千代田短期大学教授、神戸大学名誉教授。登校拒否を考える親の会相談員。主な著書『子どものシグナル見えますか』『子どもが教えてくれたこと』『人が育つ条件』『子育ては素敵なこと』『学び合って子育て』『親と子の絆を深め合う道程(みち)』『ありのままがいいんだよ』(以上、北水)『手をつなぐ子育て 思春期を見通して』(かもがわ出版)『教育相談』(学文社)『赤ちゃんの知能を伸ばす脳育あそび150』(メイツ出版)『子どもは「育ちなおし」の名人!』(清風堂書店)など多数。

16:30 閉会
18:00～20:00 交流会

分科会

10月7日(日) 9:30～16:00 **獨協大学 (4号館・5号館・6号館)**

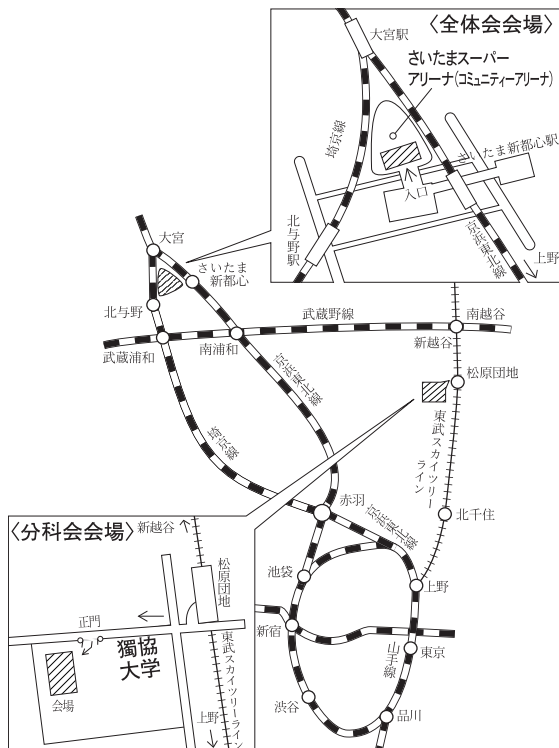
8:30 受付開始
9:30～16:00 分科会

＜全体会会場への交通案内＞

- J R 京浜東北線「さいたま新都心」駅下車 徒歩すぐ
- J R 埼京線「北与野」駅下車 徒歩7分
- J R 東京駅からは、J R 京浜東北線(快速・大宮行き)に乗車し、「さいたま新都心」駅下車(乗車時間は約40分)

＜分科会会場への交通案内＞

- 東武鉄道・東武スカイツリーライン(伊勢崎線)「松原団地」駅下車 徒歩10分
- J R 東京駅からは、J R 山手線(または京浜東北線)に乗り、「上野駅」で東京メトロ日比谷線(普通)「東武動物公園行き」または「北越谷行き」に乗り換え(「北千住」経由)、「松原団地」駅下車(所要時間は約50分)



10月 7 日(日)

9:30～16:00

分科会 ●獨協大学

希望する分科会をひとつ選んでご参加ください。

1日を通して学習・交流します。

	分 科 会	学習・交流のねらい
基礎講座 (講義)	①今日の子育てと学童保育の役割 ～学童保育の基本を学ぶ～	働きながら子育てをする家庭にはどのような学童保育が求められているのか。今日の保護者の仕事・職場や子育て環境の現状をふまえて、学童保育の役割と必要な条件、保護者と指導員が一緒に子育てする施設としての学童保育のあり方を学ぶ。
	②保護者と指導員でつくる よりよい学童保育	わが子が安心して生活できる学童保育をつくるために、保護者と指導員がどのようにかわりあいながら生活内容をつくり、運営、条件整備に取り組むか。一人ひとりの保護者の責任と父母会・保護者会の役割、指導員の役割を学ぶ。
	③指導員の仕事と役割 ～指導員の仕事の基本を学ぶ～	指導員の仕事とは何かを確かめ、仕事をしていくうえで必要とされる実務や打ち合わせの内容・意味などを学ぶ。また、よりよい学童保育をつくっていくうえで指導員に求められる課題を学ぶ。
	④学童保育の役割と 大切にしたい生活内容	働く保護者をもつ子どもたちに保障したい学童保育の生活内容、親が安心して働けるために大切にしたいことについて学ぶ。
子ども理解と学童保育の生活づくり (実践的交流)	[一人ひとりの子どもの学童保育での生活を保障し、保護者が安心して働けるために大切にしたいことを、実践を交流しながら学びあう]	
	①子どもをとらえる視点と 働きかけ・指導 (3教室)	一人ひとりの子どもへの理解をどう深めるか、子どもへの働きかけ・指導の視点を学びあう。
	②安心できる関係づくりと 生活内容 (3教室)	学童保育が子どもたちにとって安心感のある生活の場になるために、一人ひとりの子どもと指導員の関係づくりを土台として、子ども同士の関係がつけられるよう毎日の生活づくりの課題を学びあう。
	③学童保育の生活の流れと 見通し (2教室)	継続的で安定した毎日の生活をつくるために、子どもの実態をふまえたうえで、平日の放課後・土曜日・長期休業日など、それぞれの生活の流れや組み立て、見通しをどうつくるのか、実態を交流し、学びあう。
	④学童保育の生活とあそび (2教室)	学童保育の子どもたちの生活とあそびの実態を交流しながら、子どもにとってのあそびの意味や指導員のかかわりを学びあう。
	⑤子どもたちの生活を伝え、 保護者とともに育てる (3教室)	学童保育での子どもの姿や指導員のかかわりを保護者に伝えることの大切さを交流し、さまざまな保護者の生活や願いを受けとめながら、ともに子どもを育てることの大切さを学ぶ。
	⑥高学年を含めた学童保育の 生活づくり (3教室)	高学年の子どものおかれている状況や子どもの要求をとらえ、高学年を含めた学童保育の生活づくりで大切にしたいことを学びあう。

	運動を交流する分科会	学習・交流のねらい
3	①父母会（保護者会）の 役割と活動 (2教室)	なぜ父母会（保護者会）が必要なのか、父母会（保護者会）の持つ役割と大切さを学ぶ。みんなが参加できる父母会（保護者会）、魅力ある父母会（保護者会）づくりの工夫を交流する。
	②連絡協議会づくりと 活性化の課題	学童保育や保護者の実態と課題を確かめ、市区町村・都道府県の学童保育連絡協議会がなぜ必要なのかを明らかにする。連絡協議会の結成、そして、活動を持続・発展させるために何が大事なのかを交流し、学びあう。保護者・指導員が「あってよかった連絡協議会」と感じられるような活動や工夫を交流する。
4	共同運営の学童保育 －運営と改善の課題－	保護者が実質的に運営を担っている学童保育（地域運営委員会方式を含む）の実態と課題を交流し、公的責任を明らかにしながら、行政への働きかけや運営・運動の課題を学びあう。一人ひとりの保護者の力を引き出す運営の工夫や指導員の果たす役割を深める。
5	公立公営の学童保育 －実態と改善の課題－	公立公営の学童保育の実態と課題を明らかにする。保護者と指導員がともに協力しながら、保護者の願いに応え、公立公営の学童保育をどうつくっていくかを学びあう。保護者の参画、保護者と指導員の連携をどうすすめるか。入所基準・定員、開設時間、指導員の雇用（任期付き雇用、雇用止め）、指導員の働く条件、生活内容、父母会（保護者会）活動などのあり方を学び、深める。

	運動を交流する分科会	学習・交流のねらい
6	子どもの放課後のあり方、 「全児童対策事業」・児童館と 学童保育の課題	地域における「放課後子どもプラン」の動き、学童保育と「放課後子ども教室」の関係のあり方を考える。「全児童対策事業」との一体化の動向や問題点、課題を明らかにする。児童館やその他の地域の子どものための施設や事業の拡充も含め、子どもが健やかに育つ地域、放課後のあり方を深めあい、学童保育の実践や運動の課題を学ぶ。
7	学校内の学童保育 －実態と改善の課題－	学校施設利用について、国や自治体、地域の動向を学び、実態を交流しながら、条件整備の課題と留意すべきことを確かめる。学童保育が学校内にあることの課題や利点などを整理し、子どもたちによりよい学童保育をつくるための学校とのかかわりを考えあう。
8	学童保育の施設改善の課題	国のガイドライン、各地の設置運営基準の策定の動向などをふまえて、施設・設備の実態と課題、改善運動を交流し、学童期の子どものための「生活の場」にふさわしい学童保育の施設・設備のあり方を学びあう。
9	学童保育の設置・運営基準づくりと 運動の課題	学童保育の量的・質的な拡充を図っていくために、学童保育に必要な条件、私たちの願い・要求を確かめ、設置・運営基準づくりの運動や施策の改善運動を交流する。
10	学童保育の「適正規模」と 分割・複数設置の課題	学童保育の大規模化が十分に解消されないなかで、学童保育での子どもたちの生活の実態や指導員の悩みを交流し、大規模化の問題、規模の上限の必要性を明らかにして、分割・複数設置の運動の課題を学ぶ。「分けざる」分割のあり方、複数設置の場合の運営や保育のあり方についても深める。
11	学童保育をめぐる情勢と 運動の課題	国の学童保育に関する方針、制度改革の動向、その問題点や課題を明らかにし、私たちが求める学童保育、国の制度の実現と自治体での学童保育施策の確立の課題を明らかにする。また、運動を交流しながら課題を深める。
12	①自治体施策 －分析の視点と改善運動の課題－	自治体の施策と改善運動についてのレポートをもとに、公的責任とは何かを明らかにしながら、施策分析の視点、施策の改善運動の課題を学びあう（自治体の学童保育施策、要綱等の資料を60部用意して参加してください）。
	②市町村の学童保育施策をめぐる 動きと改善運動	自治体で起きている、市町村合併や指定管理者制度導入、人件費を中心とする財政抑制策、自治体の仕事を民間に任せる動きなどの問題点を明らかにし、学童保育施策を後退させずに改善させていくための情報や運動を交流する。
	③指定管理者制度と学童保育 助言者・角田英昭 (神奈川自治体問題研究所)	「公の施設」を管理するための制度が、子どもたちが継続的に生活しながら育つ場である学童保育にも導入されていることの問題点を、実際に導入されている地域の実態から明らかにする。導入させないための運動、導入の撤回を実現するための運動の課題も学ぶ。
13 指導員にかかわる課題	①専任・常勤・複数体制の確立、 労働条件の確立	指導員の仕事を確かめながら、専任・常勤・複数体制がなぜ必要なのかを学ぶ。各地の「午後から勤務」「非常勤」「非専任」体制の実態と問題点を明らかにし、労働条件の改善も含めた運動を交流する。
	②指導員の仕事の確立と研修活動	指導員の仕事の内容や特徴を明らかにし、日常的・継続的な研修と経験の蓄積がなぜ大切なのかを確かめる。指導員の研修内容を交流し、仕事に必要な研修内容を確認する。「実践を振り返る」ことの大切さと方法について学びあう。また、指導員に求められる資格や専門性についても深める。
	③指導員の職場づくりと 地域の指導員会づくり	学童保育での子どもたちの生活に責任を負う指導員が、毎日の仕事を行ううえで必要とされる「職場づくり」の実態を交流し、課題を確かめあう。また、地域（都道府県、地区、市町村レベル）で指導員同士が学びあい・支えあうための指導員会づくりの必要性やあり方について学びあう。

	講義と交流の分科会	学習・交流のねらい
14 障害児と学童保育	①障害のある子どもの受け入れと 障害児理解 講師・品川文雄 (NPO法人発達保障研究センター)	障害のある子どもの障害と発達・生活・権利への理解、保護者の願いを深め、学童保育に受け入れるにあたっての視点や条件整備の課題を学ぶ。
	②発達障害児の理解と支援 講師・奥住秀之（東京学芸大学）	発達障害のある子どもへの理解を深め、学童保育の生活づくり、子ども同士のかかわり、指導員とのかかわりで大切にしたいこと、支援の課題を学ぶ。
	③障害のある子どもを含めた生活 づくり－実践の交流と確かめ－ 助言者・竹脇真悟 (埼玉・特別支援学校教諭) 助言者・清水 均（埼玉県東部障害者就業・生活支援センター）	2教室にわかれて、障害のある子どもが入所している学童保育での生活づくりの実践を交流し、指導員の働きかけ・かかわりで大切にしたいことを学びあう。
	④障害のある子どもを対象とした 学童保育づくり 講師・村岡真治（障害のある子どもの放課後保障全国連絡会）	地域で障害のある子どもが生活し、成長していくことをどう保障するのか。障害のある子どもを対象とした学童保育や放課後ケア施設をつくり、充実させていくための課題を学び、実践と運動を交流する。

	講義と交流の分科会	学習・交流のねらい
15	高学年の子どもの生活 講師・山崎隆夫(東京・元小学校教諭)	高学年の子どもの心と身体の特徴や生活、要求を確かめ、高学年の子どもたちに保障したい放課後や家庭の生活を学ぶ。
16	子どもの権利を学ぶ 講師・増山 均(早稲田大学)	子どもの権利とは何か、「子どもの権利条約」を、今日の日本の実情とかかわらせながら学ぶ。家庭・学童保育での、子どもの権利をふまえた子どもとのとらえ方や子育ての課題を学ぶ。
17	今日の子どもの問題を考える 講師・村山士郎(大東文化大学)	少年犯罪、いじめ、不登校、引きこもり、学級崩壊なども含め、今日の子どもをめぐる状況を明らかにし、子ども理解を深め、子育てや教育の課題を学ぶ。
18	学童保育と学校 ー保護者と指導員と教師のかかわりー 講師・土佐いづ子(大阪・元小学校教諭)	今日の学校・教師・子どもをめぐる実態、問題と課題、動向を学ぶ。また、子育ての願いや子どもの生活を保護者・指導員・教師が伝えあう大切さと、それぞれの実践の課題を学ぶ。
19	学校での学びと教師・保護者の役割 講師・渡辺恵津子 (埼玉・元小学校教諭)	学校は子どもたちが共同で学んでいく場。学級づくりや授業づくりの中で豊かに学びが広がる。子どもたちの学ぶ意欲を育て、学ぶ楽しさのある学級や学校をどうつくるか。教師と保護者の役割と連携の課題を学ぶ。
20	子どもの発達と学力 講師・田中昌弥(都留文科大学)	学力とは何か。子どもの成長・発達と学力のかかわり、学力の土台になるものを学ぶ。子どもの発達を保障するために家庭・学童保育・学校で大切にしたいことを学ぶ。
21	子どもの遊び・学び・仕事 講師・須藤敏昭(大東文化大学)	子どもの成長・発達と遊び・学び・仕事のかかわりを学ぶ。働くことと働く人への理解や家事労働の大切さを学ぶ。
22	子どもの生活と地域・文化 講師・中西新太郎(横浜国立大学)	今日の若者・子どもの生活と地域・文化をめぐる状況を明らかにしながら、若者・子どもの育ちと生活・地域・文化をどう理解したらよいのかを学ぶ。そのうえで、保障したい文化的環境や生活とは何かを学ぶ。
23	子どものからだと生活 講師・藤田和也(國學院大學)	今日の子どものからだの問題や課題を明らかにしながら、成長期にある子どもの健康な身体づくりについて大切にしたいことを学ぶ。食生活、生活のリズムなど、家庭や日常の生活のあり方をとらえなおす視点を学ぶ。
24	働きながらの子育てと家族・家庭 講師・清水玲子(東洋大学)	働きながら子育てをしている保護者の現状、仕事・職場の実態をふまえながら、家族・家庭の役割、母親も父親も人間らしく働き、ともに子育てしていくことができる環境を築くうえでの課題を学ぶ。
25	女性・男性の仕事・職場、働き方を考える 講師・杉井静子(弁護士)	働く女性の仕事・職場、働く条件の実態を明らかにし、女性の社会参加や子育てしながら働きつづけるために、保育の公的保障などの条件整備の課題を学ぶ。男性も女性も人間らしく働ける労働条件や、働く環境の整備の課題を学ぶ。
26	地域に根ざす学童保育 講師・山崎丈夫(愛知学泉大学)	学童保育が地域に根ざすとはどういうことかを学ぶ。町内会・自治会など地域の団体と学童保育のかかわり、働く者と地域のかかわりについて学ぶ。安全・安心な街づくりの課題についても学ぶ。
27	自治体政策と地方自治の課題 講師・二宮厚美(神戸大学名誉教授)	政府の「地域主権戦略」、自治体リストラやアウトソーシング(外部化)、今日の地方自治と自治体をめぐる政策動向、地方自治と住民運動の課題を学ぶ。地方自治とは何か、自治体と国の役割と責務について学ぶ。
28	子どもの貧困と学童保育 講師・浅井春夫(立教大学)	日本における子どもの貧困の現状、問題や課題は何かを学び、学童保育に期待されていること、学童保育のあり方を深める。
29	社会保障・児童福祉施策の動向と課題 講師・芝田英昭(立教大学)	政府が進めている「税と社会保障の一体改革」とは何か、何が問題なのか、社会保障の現状と行方、あり方を学ぶ。公的保育制度の仕組みや守るべき制度のあり方を学び、政府がめざしている「新システム」によって公的保育制度が壊されようとしている問題点を学ぶ。権利としての社会保障、福祉、働きながらの子育ての保障を確立する運動の課題を学ぶ。
30	《特設分科会》 東日本大震災と学童保育	東日本大震災は多くの市町村に甚大な被害を生み、学童保育の子ども、保護者、指導員、学童保育施設などもたくさんの被害を受けた。被災地の現状、復旧・復興の課題は何か、私たちに何ができるのか。被災地の学童保育関係者とともに考えあう。

宿泊の申し込み

申し込み期限…9月7日（金）

宿泊を希望される方は、参加申し込みとは別に、宿泊申し込み書に必要事項をご記入のうえ、下記旅行会社にFAXまたは郵送にて直接お申し込みください。お申し込み後の取消・変更は電話での受付はできません。申し込み用紙に（取消・変更）と書いて送ってください。

①宿泊施設と料金（10月6日の宿泊と翌朝の朝食付。税込） ……最少催行人員1名より、添乗員なし

宿泊施設は、全体会・分科会会場近辺にて確保しております。宿泊施設が限られており、混雑が予想されます。ご自身での宿泊手配は難しいと思われるので、当該方法にてお申し込みをお願いします。

	地区	埼玉地区ホテル	お部屋	料 金		地区	東京都内ホテル	お部屋	料 金
A	新都心	ラフレさいたま	シングル ツイン	9000円 7500円	J	浅草	ホテルサンルート浅草	シングル	9900円
B	浦和	浦和ワシントンホテル	シングル ツイン	8700円 7700円	K	浅草	浅草セントラルホテル	シングル ツイン	9800円 8500円
C	谷塚	ドーミーイン谷塚	シングル	8500円	L	浅草	チサンイン浅草	シングル	9000円
D	新都心	東横インさいたま新都心 （サービス朝食）	シングル	8300円	M	浅草	ブルーウェーブイン浅草	シングル	8400円
E	大宮	マロウドイン大宮	シングル ツイン	7900円 6700円	N	綾瀬	綾瀬国際ホテル(朝食弁当)	シングル	7600円
F	浦和	プラザホテル浦和	シングル	7700円	O	浅草	スマイルホテル浅草	シングル	7400円
G	大宮	アウルホテル大宮	シングル	7500円					
H	草加	東横イン草加駅西口（サー ビス朝食）	シングル ツイン	7000円 4500円					
I	八潮	東横インつくばエクスプレ ス八潮駅北口	シングル	6000円					

②申し込み方法

宿泊申し込み書にご希望のホテルをA～Qの記号で第三希望までご記入のうえ、下記旅行会社へFAXまたは郵送でお申し込みください。なお、申し込み書の着信を必ずご確認ください（FAXの場合は、当日または翌日。郵送の場合には、投函後3～4日後）。

③申し込み期限…9月7日（金）

申し込みは先着順に受付させていただきます。満室になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

④送金方法

お申し込み締め切り後、旅行会社より予約確認書及び請求書を送付させていただきますので、9月28日（金）までに指定口座へお振り込みください。なお、振り込み手数料はお申し込み者のご負担となります。

⑤取り消し料

21日前まで	20日～8日前まで	7日～2日前まで	前日	当日	無連絡
無料	20%	30%	40%	50%	100%

※取り消し日の基準は、FAXの送信月日を基準とします。下記旅行会社の営業日・営業時間内とさせていただきます。

※取り消し後の返金は、研究集会終了後に振り込み手数料を相殺のうえ、お申し込み者の指定口座へ振り込み送金します。

⑥子ども（小学生・幼児）の料金

大人と同額です。ただし、ベッド・朝食が不要な幼児は無料です。申し込み書に幼児の方の年齢とその旨をご記入ください（無料扱いの幼児の基準年齢は、満3歳以下です）。

《宿泊申し込み先》………ご不明な点はご遠慮なく下記旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

めいてつかんこう

名鉄観光サービス(株)さいたま支店

観光庁長官登録第55号 JATA正会員 ボンド保証会員

〒330-0803

さいたま市大宮区高鼻町1-20-1大宮中央ビル 2 階

電話 048-641-5388 FAX 048-641-5287

総合旅行業務取扱管理者：大坪俊之

営業時間：月～金9:30～18:00／土曜日・日祝日休業

担当：中村・稲原・安井

承認 K24-13

ご旅行条件の要約

- ①募集型企画旅行契約……この旅行は名鉄観光サービス（株）（以下当社）が企画・募集し実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社との募集型企画旅行契約を締結することになります。また、契約の内容・条件とは各プランに記載されている条件のほか、下記条件、出発前にお渡しする確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので事前に確認のうえお申し込みください。
- ②旅行のお申し込み及び成立……お申し込み書に所定の事項を記入し、指定の期日までに旅行代金全額をお支払いください。旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、旅行代金を受領した時に成立したものとします。
- ③個人情報の取り扱いについて……お申し込みの際にご記入いただいた個人情報については、当該旅行における手配に必要な範囲内において利用させていただきます。その他、個人情報の取り扱いについては旅行条件説明書に明記しております。

第47回全国学童保育研究集会のご案内

- 日程と会場 2012年10月6日(土) 13:00~16:30 全体会
さいたまスーパーアリーナ(さいたま市)
10月7日(日) 9:30~16:00 分科会
獨協大学(草加市)
- 参加費 3500円(資料代含む) ○1日のみの参加も、両日参加も、参加費は同額です。
○10月2日(火)以降にキャンセルした場合は返金できません。
- 弁当代 800円 (7日のみ。会場周辺には飲食店などの店舗がありませんので、お弁当が必要な方は必ず9月27日(木)までに申し込んでください)

●参加申し込み方法

- *参加申し込みは、現金書留ではなく郵便振替を利用してください。参加費(必要な方はお弁当代も)を下記の口座に振り込んでいただいたうえで、郵便振替の受領証のコピーと必要事項を記入した「参加申し込み書」をあわせて、ファックスか郵便、Eメールで下記あてにお送りください。ファックスの場合は、文字が見えにくくなりますので、拡大して、お送りください。
- *団体でまとめて振り込む場合は、振り込み用紙の通信欄に団体名と人数、代表者の連絡先(電話番号)を書いてください。
- *市町村に学童保育連絡協議会等がある地域は、できるだけ連絡協議会でまとめて申し込んでください。

参加申し込み先

埼玉県学童保育連絡協議会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-147-1

TEL 050-3476-3069 FAX 048-644-1572

E-mail: zenkokuken_in_saitama@yahoo.co.jp

郵便振替口座: 00160-8-386036 口座名義: 埼玉県学童保育連絡協議会

※他の金融機関から振り込む場合は、銀行名: ゆうちょ銀行、

店名: 〇一九(ゼロイチキュウ)、預金種目: 当座預金、口座番号: 0386036

- *当日受付もありますが、たいへん混雑しますので、宿泊希望がない場合でも事前に参加の申し込みをお願いします。事前申し込みは、9月27日(木)までにお願いいたします。めいてつかんこう
- 宿泊の申し込み *参加の申し込みとは別に、別記の要領にそって、旅行代理店名鉄観光サービス(株)さいたま支店に申し込んでください。
- 保育 *3歳以上は用意しますが、十分ではありませんので、できるだけ地域で対応してください。保険料・おやつ代は当日、会場でいただきます。
*必ず事前に申し込んでください。利用日、年齢、名前、ふりがな、必要事項(アレルギー等)があれば申し込み書にご記入ください。

- 問い合わせ ◇参加申し込みについては、埼玉県学童保育連絡協議会へ。 050-3476-3069
◇宿泊については、名鉄観光サービス(株)さいたま支店へ。 048-641-5388
◇研究集会の内容については、全国学童保育連絡協議会へ。 03-3813-0477

全国学童保育連絡協議会

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13

TEL 03-3813-0477 FAX 03-3813-0765

http://www.2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou

zghrk@xui.biglobe.ne.jp

(リーフレットはホームページからもダウンロードできます)

ご記入いただいた個人情報は、この研究集会に関する問い合わせのほか、各種受講案内や刊行物案内をお届けするために利用させていただきます。全国学童保育連絡協議会の個人情報保護方針に基づき、ご本人の許可なく第三者への提供は行いません。

おねがい

レポート資料

- ・分科会に参加者が自主的にレポートや資料を用意されることは大歓迎です。ただし、印刷は当日、会場ではできませんので、必ずご自身で事前に印刷して持ち込んでください(印刷枚数は10月3日[水]までに全国学童保育連絡協議会まで問い合わせください)。
- ・分科会会場では、まず世話人にレポート・資料の持ち込みの旨を伝え、世話人を通して参加者に配布してもらってください。なお、1日目(土曜日)に世話人に渡したいので、できましたら1日目に全体会本部に2部お持ちください。

販売

- ・販売は、実践や運動の記録、子どもの作品(文章など)に限ります。販売を希望される方は、それぞれの都道府県連絡協議会または全国学童保育連絡協議会事務局に、9月25日(火)までに申し込んでください。
- ・販売は、用意してある販売場所に限りをお願いいたします。販売物は、全国学童保育連絡協議会に1部寄贈を行うことをお願いいたします。
- ・会場内でのこれらの活動は集会運営に支障となりますので、認めていません。全国からの参加者にとって研究・学習の有意義な場となるよう集会を運営しています。ご理解とご協力をお願いします。

チラシ配布 署名・賛同 など

駐車場

- ・全体会会場、分科会会場ともに駐車場はありません。